

I 次の文章を読んで、下記の問いA、Bに答えよ。

現在、日本列島上において発見されている最も古い銭貨は、無文銀銭と呼ばれる表面に銀片を貼り付けて重量を整えた銭貨であったと考えられているが、683年、天武天皇は、この無文銀銭の使用を停止し、新たに銅銭を使用することを定めた。この銅銭は、その表面に浮き彫りされた銘から富本銭^aと呼ばれるが、近畿地方他の各地の遺跡で出土する一方で、まじないなどに使用されていたのではないかとする学説もあり、その流通は限定的であったと考えられている。こうした中、8世紀初めに成立した律令国家では和同開珎^bを発行し、様々な施策を行ってこれの流通に努めたが、当時はまだ稲や布の方が交換手段として一般的で、律令国家の狙い通りには銭貨は流通しなかった。律令国家はその後も銭貨を発行し続けたが、銅の産出量の減少なども相まってその質は粗悪となり、958年に乾元大宝^cが発行されたのを最後に、国家による銭貨の铸造・発行は長く断絶することとなった。

一方、中国で発行された銭貨の多くは、日本を含む東アジアの国々の通貨使用に大きな影響を与えた。この時期の銭貨に多い、中央に方形の孔を設け孔の周囲に4文字の銭文を浮き彫りするデザインは、dで発行された開元通宝の影響を受けたもので、こうしたデザインは19世紀に至るまでの東アジア地域で広く普及した。また、乾元大宝以降、近世に入るまで、国家として銭貨を発行しなかった日本では、中国から輸入された銭貨を国内で通用する通貨として利用した。中でも、歴代王朝の中で最も多くの銭貨を作った北宋の銭貨は、日本にも大量に輸入され、その後の日本の社会や経済に深く浸透した。中国で発行された銭貨の流入はその後も続き、1368年、明が建国された後、足利義満により日明貿易が始まり、明銭が輸入されることとなった。

しかし、15世紀後半頃から、国内における商品流通が活発化すると、商品の流通量に比較して銭貨が不足しがちになり、貨幣を媒介とした商取引は大いに混乱した。こうした事態に直面した室町幕府や織田信長等は様々な対策を行ったが、16世紀に入って一部の戦国大名たちにより金山・銀山の開発が進められ、技術革新により金・銀の産出量が増大するようになると、良質な銀は海外にも輸出されるようになった。こうした中、豊臣秀吉が国内では実に約630年ぶりに統一政権として貨幣を製造するに及んで、日本の貨幣と政治権力の関係は新たな時代へと入っていった。

A 下記の問い1～8の答えをア～オから選び、マーク解答用紙に記せ。

1. 下線部 a が最初に出土した遺跡は、次のうちのどれか。

ア 長屋王邸跡 イ 藤原宮跡 ウ 飛鳥池遺跡 エ 難波長柄豊碕宮跡 オ 平城京跡

2. 下線部 b に関する記述として誤っているものはどれか。

ア 蓄えた銭の量に応じて位階を授ける法令を定めた。
イ 相模国から献上された銅を素材として铸造された。
ウ 都の造営に雇われた人々に支給された。
エ 山城国・周防国などに設置された铸銭司で铸造された。
オ 畿内においては調を銭で納めさせた。

3. 下線部 c を発行した天皇の治世は、その父の治世とともに、善政が行われた時代と賞されたが、この二人の天皇の治世に行われたことでないことはどれか。

ア 三善清行により意見封事十二箇条が奏上された。
イ 藤原時平の策略により菅原道真が大宰府に左遷された。
ウ 六国史の最後となる『日本三代実録』が編纂された。
エ 『後撰和歌集』が編纂された。
オ 尾張国司の藤原元命が郡司・百姓等に訴えられ解任された。

4. 空欄 d に入る語はどれか。

ア 唐 イ 渤海 ウ 隋 エ 金 オ 遼

5. 下線部 f に関する記述として誤っているものはどれか。

ア 荘園からの年貢は市において銭と交換され、代銭によって納入されるようになった。

イ 朝鮮半島の新安沖で沈没した船からは、東福寺の再建費用にあてられる予定であった大量の銅銭などが発見された。

ウ 日宋貿易では大量の銅銭が輸入される一方、国内産の青磁・白磁の陶磁器が輸出された。

エ 米や銭の貸付を専門に行う借上と呼ばれる金融業者が活躍した。

オ 銅銭は1枚を1文と数え、97枚を100文とみなして紐でくくって使用されることも多かった。

6. 下線部 g にあてはまらない銭貨はどれか。2つ選べ。

ア 永楽通宝 イ 政和通宝 ウ 宣徳通宝 エ 延喜通宝 オ 洪武通宝

7. 下線部 h について述べた文として誤っているものはどれか。

ア 精銭の減少により米や銀が貨幣として使われるようになった。

イ 銭の流通不足を補うため粗悪な私鑄銭が流通した。

ウ 室町幕府や戦国大名は撰銭令を制定した。

エ 商人によっては悪銭の受け取りを拒否する者も現れた。

オ 室町幕府は明銭以外の銭の使用を禁止した。

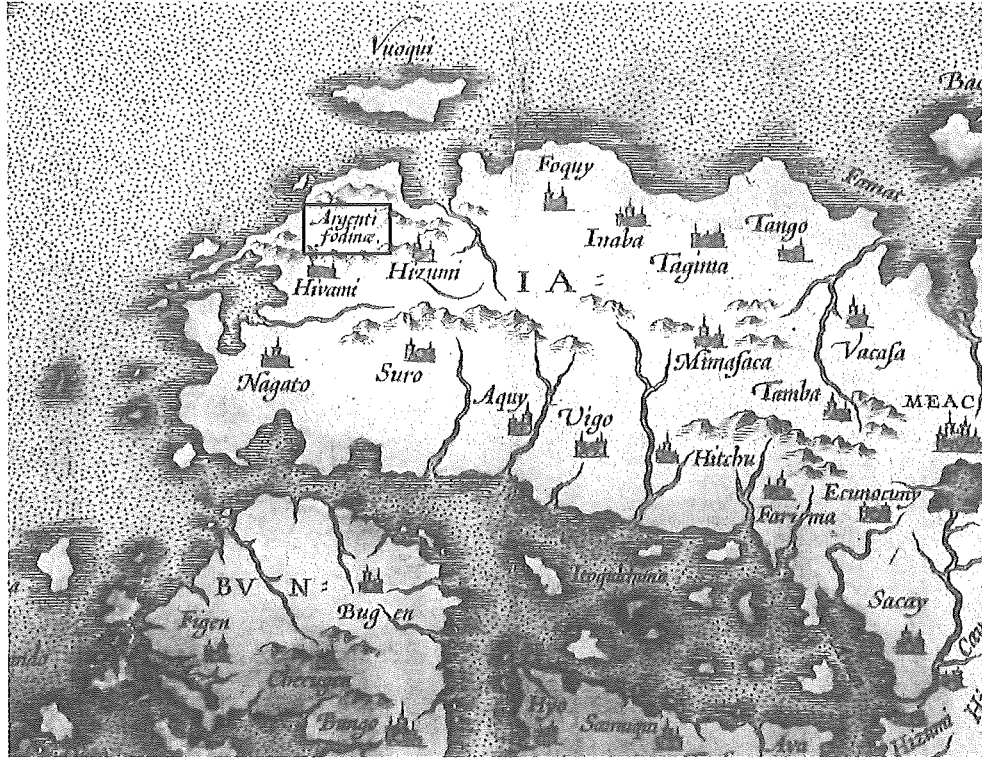
8. 下線部 j に関して、統一政権が発行した貨幣ではないものはどれか。

ア 慶長小判 イ 豆板銀 ウ 天正大判 エ 寛永通宝 オ 銀札

B 下記の問い9, 10の答えを, 記述解答用紙に漢字で記せ。

9. 下線部 e に関連して, 日本の中世において, 銭貨の発行を計画していたとされる天皇は誰か。

10. 下の図は海外で刊行された日本の地図の一部である。下線部 i に関連して, 図中の枠で囲んだ鉱山の名称は何か。



II 次の【史料1】および【史料2】を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料1】

「老中達書」(安政四年二月二十四日)

英人広東を焼払候一条に付、和蘭甲比丹話説の趣、再応勘弁致候処、蘭人の申立、今更の事には無レ之、追々差迫り候儀に相聞、……実に当時外国人御取扱振、事情に不レ応儀は、我国人にも粗相分候程の義に付、漸々彼の怒を積候はゞ、広東の覆轍を踏候も難レ計、尤御警戒可レ致儀に有レ之、既に寛永以来の御祖法を御変通被レ遊、和親御取結にも相成候上は、……御扱方も亦随て御改革無レ之候では相成間敷、然るを兎角仕来に拘泥致し、瑣末の儀迄六ヶ敷指拒、追年外夷の怒を醸し候は、無算の至りにて、万々一砲声一響候はゞ、最早御取戻も難ニ相成候間、外国人緩優の御取扱、且 ⑦ の三港は、諸事同様の取扱振に相成、文書の往復、応接の礼節等、都て外国人ども信服致し候様、真実の御所置に無レ之候では難ニ相叶時勢に有レ之、既に英吉利評判記・亜米利加官吏の申立、尚又今般蘭人の申立等、一々差迫り居、此上是迄の御仕法にては、永く可ニ取支様無レ之は顕然の儀に付、無事の内に、是迄の御法早々御変革有レ之、其上の御取締相立候様取計候方、長策に可レ有レ之候間、右の心得を以、向來の御所置振等篤と勘弁熟慮いたし、早々取調可レ被ニ申聞候事。

【史料2】

玉虫左太夫『航米日録』

万延元年庚申春正月十有八日、正使外国御奉行豊前守 ⑨ 使君・副使外国御奉行淡路守村垣使君・御目付豊後守小栗使君、其外属官・従臣、総計七十七人、各軽装ニテ、米州華盛頓へ条約ヲ結ント、廟命ヲ蒙リ、彼ヨリ艤シタルホーハタンへ乗り渡ラレケル。

A 下記の問い [i] ~ [viii] の答えをそれぞれ <a> ~ <e> から選び、マーク解答用紙に記せ。

[i] 下線部②が発端となり、1858年に清国が西洋諸国と締結した条約は何か。

- <a> 南京条約 天津条約 <c> アイグン条約 <d> 北京条約 <e> イリ条約

[ii] 下線部③と関係のないものはどれか。

- <a> 白糸 東インド会社 <c> 紅毛人 <d> 風説書 <e> 慶賀使

[iii] 下線部④の時期に活動した舟橋蒔絵硯箱(国宝)の作者は誰か。

- <a> 酒井田柿右衛門 狩野探幽 <c> 本阿弥光悦 <d> 円山応挙 <e> 土佐光信

[iv] 下線部⑤を表現する歴史用語を創案したのは志筑忠雄と言われている。彼がその際に依拠した著作はどれか。

- <a> ケンペル『日本誌』 西川如見『日本水土考』 <c> 頼山陽『日本外史』
<d> グローニン『日本幽囚記』 <e> シーボルト『日本』

[v] 【史料1】で述べられていないものはどれか。

- <a> 清国と西洋諸国との紛争は、今なお予断を許さない。
 西洋人からもたらされた清国に関する情報は傾聴に値する。
<c> 日本についても、西洋諸国との武力衝突の危険がないとは言えない。
<d> 欧米諸国との貿易量の趨勢に注意を払う必要がある。
<e> 近年の外交政策変更の趣旨を今後ますます徹底しなければならない。

[vi] 下線部⑧の3月3日、いわゆる桜田門外の変が起った。この事件から、慶応が明治へと改元された1868年10月までの期間における出来事でないものはどれか。

- 〈a〉 各地で大地震が発生し、例えば江戸では藤田東湖が犠牲となった。
- 〈b〉 参勤交代の出府が3年に1度に改められた。
- 〈c〉 新島襄がアメリカに密出国した。
- 〈d〉 民衆の狂乱的乱舞が遠江・三河・尾張から始まり、各地に伝播した。
- 〈e〉 築地ホテル館の建設が始められた。

[vii] 空欄⑨に入るのは誰か。

- 〈a〉 永井尚志
- 〈b〉 木村喜毅
- 〈c〉 勝義邦
- 〈d〉 新見正興
- 〈e〉 岩瀬忠震

[viii] 下線部⑩と相前後して、幕府の軍艦一隻も米国に赴いた。この軍艦に乗り組んでいた人物の著作はどれか。

- 〈a〉 夷虜応接大意
- 〈b〉 大東合邦論
- 〈c〉 西域物語
- 〈d〉 海国兵談
- 〈e〉 脱亜論

B 下記の問い [ix] [x] [xi] の答えを記述解答用紙に漢字で記せ。

[ix] 下線部①の正月に開校式が行われた幕府の洋学研究教育機関を何というか。

[x] 老中首座として下線部⑥を主導し、また、諸大名や幕臣に外交方針を諮るなどしたのは誰か。

[xi] 空欄⑦には「三港」の名称が入る。すべて書け。

Ⅲ 次の【史料】を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料】

『東洋経済新報』1894（明治27）年11月25日号

添田壽一

今後の経済策を立つるに当ては、単に兵備のみに基づくべきにあらずして、殊に彼の軍事に熱中して他の最大要件を放擲せんとするに至ては最も遺憾とする所なり。蓋し何れの国何れの時代を論ぜず、国力不相当の軍備拡張の爲めに自ら衰頹せざるものは稀なりとす。而して今や我国は宇内の大勢と我が国状とにより、軍備を拡張せざるべからざるの必要に迫れり。則ち必要に迫れるは争ふべからずと雖も、いやしくも実業の発達にして国力培養の方法軍備拡張の尺度たる以上は、実業問題の更に急務たるや多弁を俟たず。……今試に最近五箇年の統計を取て我が外国貿易上に於ける貨物運搬力を示せば……五箇年平均に於て百分中八十一は即ち外国船の運搬する所にして、我が船舶の運搬料は僅に其十九を占むるに過ぎず。……次に又本邦人の貿易権は同五箇年に於て如何なる地位にあるやを見るに左の如し。

	輸出入合計内外商別		百分比	
	内国商	外国商	内国商	外国商
明治23年	25,837千円	109,800千円	19	81
同 24年	23,163	116,837	17	83
同 25年	25,403	134,207	16	84
同 26年	30,348	145,389	17	83
同 27年	54,398	173,183	24	76
平均	31,830	135,883	19	81

二十七年は特殊の事実に依り内商の歩合増加せるも、之を平均するに其百分中八十一は外国商の掌中にあり。而して百分の十九を占むる内商なる者も多くは其実自から海外に赴き親しく外国貿易に従事する者にあらずして、平身低頭ひたすら居留外商の鼻息を窺ひ、辛ふじて売込を為す者に過ぎず。勢其の如くんば則ち貿易上の実権を恢復すること、何の日にか之を求めん。……今日の勝敗は兵力よりは寧ろ財力如何に依て決す。故に最も肝要なるは一般実業上の発達なりとす。……彼の多年上下共に苦心したる条約改正も、文面に於ては幸にして稍々対等に近づきたるも、之を實際上殊に経済上に於て対等の地位を保持せんには一層の奮發を要すべきなり。

A 下記の問い（1）～（3）の答えを、（a）～（e）から選び、マーク解答用紙に記せ。

（1） 下線部（あ）と最も関連が薄いと考えられる出来事はどれか。

- （a） ノルマントン号事件 （b） 三国干渉 （c） 佐賀の乱
（d） 甲申事変 （e） 大津事件

（2） 下線部（い）と最も関連が深いと考えられる事項はどれか。

- （a） 官営事業の払下げ （b） 鉄道国有化 （c） 金本位制の採用
（d） 甲午農民戦争 （e） 三井物産の設立

（3） 下線部（う）の活動に該当しないものはどれか。

- （a） ヨーロッパ航路の開設 （b） 両毛鉄道の建設 （c） インドからの綿花輸入
（d） 長野県での蚕卵紙買い付け （e） 八幡製鉄所の設立

B 【史料】の著者は、当時大蔵省に勤務する官僚であった。著者がこの文章を執筆した動機は何か。表中の数字に言及しつつ、当時における日本の国際的な立場と国内の経済社会状況とも関連付けながら、120字以内で記述解答用紙に記せ。その際、下記の語群のなかから最も適切と考えられる4語を選択して使用すること。

（語群）

関税自主権 生糸輸出 米騒動 新貨条例 内地雜居 日露戦争 兵備拡張
南満州鉄道

Ⅳ 以下の対話は、ある大学における日本史担当の教授と学生が、ゼミで交わしたものである。この対話を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

教授：最近、日本政治史の研究の進展は目覚ましいよ。君たちが教わった教科書に載っている古い日本史像がどんどん塗り替えられているよ。

学生：日本史は受験で学び尽くした気がするのですけれど、たとえばどんな部分ですか。

教授：先日の衆議院議員選挙でも、二大政党政治ということがよく話題になっていたね。理想としての二大政党政治の起源を、藩閥政治が政党政治へ転換していく桂閥時代の終焉から第一次護憲運動にかけての政治力学に読み込むことがその典型的な例じゃないかな。護憲運動に逆らって民衆から敵視された桂太郎のことは知っているね。でも今では桂が二大政党制の影の立役者であったことが、ほぼ定説になっているよ。桂と、その派閥の長であった山県有朋との間には、政党化を必然と見るかどうかについて大きな認識の相違があったんだ。第二次桂内閣は知っているね。(a) 外相と共に (あ) や条約改正を実現させた内閣だ。それを契機に桂首相は内閣をたたくで首相の地位を (い) 総裁であった西園寺公望に譲って、ドイツやロシアの視察旅行に出かけたんだけど、その目的は外交と内政、それぞれに先見の明があつてのものだったんだ。

まず、外交では辛亥革命によって清朝が倒れ流動化した中国情勢のなかで、存在感を増していたアメリカに対抗するために、ロシアやドイツとの連携を行いたいという抱負を持っていた。そして内政でも、ヨーロッパで進んでいた労働者を守る社会立法の研究にあたった。桂はこうして当時の (い) に対抗し得る新たな政党組織の準備を行っていたんだ。

学生：あの「閥族」の代表みたいな桂が労働者を保護するんですか？ 信じられない！ そんなことを山県が許すはずがないように思えるのですが…。

教授：いい視点だね。山県はそうした桂の動きを快く思っていなかったんだ。(b) が藩閥の結束よりも、政党化の流れを支持して、(い) の総裁に収まった際にも、最後まで反対したのは山県だからね。山県が議会と内閣は全く別のものだと考えていたのは間違いない。

学生：桂は、よく山県から距離をおくことができましたね。

教授：そうなんだ。しかし、議会が予算審議権を持っている限り、議会が多数を占めてしまう政党と協力するか、自ら政党を組織するしかないからね。桂は徐々に山県と距離を置き始めるよ。桂が (い) 総裁の西園寺を次期首相にと再度明治天皇に推薦した際も、山県には通告だけで事前に相談はしていない。でも山県の意向に逆らって政党を立ち上げる準備を進めていた桂にとって、思いもかけない出来事が起こってしまうんだ。何だか分かるかい？

学生：第一次世界大戦かな、それとも明治が大正に変わったことかな？

教授：第一次大戦開戦の際には、既に桂はこの世にはいないからね。後者が正解だ。明治天皇が亡くなったこと、まさにそれだよ。(b) 亡き後、明治天皇は桂に何でも相談するような非常に親しい関係だったんだ。桂にしてみれば花道を一旦降りて、明治天皇の期待を背にロシアを見学していた矢先の危篤の知らせだった。桂は急いで途中のペテルブルクから東京に取って返したけれど、死去には間に合わなかった。

桂としては、時間をかけてゆっくりと水面下で政党旗揚げの準備を進めて、しかも、きちんとした政策や理念をもった新党を作ろうと考えていたのに、突然の明治天皇の死によって、自分を守ってくれる支えを失ってしまった感じだね。さらに悪いことに、山県が桂を疎んで、これを絶好の機会にと、内大臣兼侍従長への就任を働きかけたんだ。明治天皇が病床で皇太子嘉仁（のちの大正天皇）に、あとは「桂に大事を託せ」と遺言していたことを、帰国してすぐに知らされた桂は、その申し出を断り切れず、結果として宮中に封じ込められてしまったんだ。さらに山県は大正天皇に巧みに働きかけて、桂に元帥の称号を贈らせようとまでした。さすがにこれは桂が断った。もう永久に自ら政党を組織することができなくなるからね。

学生：山県には老獺という言葉がぴったりだ！ それが本当なら桂は孤独でしたね…。二大政党政治をめぐる駆け引きが、民衆にはもちろん他の政治家にも伝わらないまま、桂は護憲運動にも直面しなければならなかったわけですね。

教授：そう、権力の中核部分での微妙な対立が、はっきり歴史として画定されるまでには、時間もかかる。「憲政擁護」と「閥族打破」のスローガンの下、第三次桂内閣打倒を目標に第一次護憲運動が起こされたことは有名だね。でも実は、宮中に封じ込められた桂が、その封印を押し破って脱出して組織したのが、第三次桂内閣なんだ。

桂は（う）問題を（c）陸軍大臣から西園寺首相に強く要求するよう炊きつけ、西園寺内閣を倒すことで、封印を破って出る道を見つけたんだ。西園寺辞任後の総理適任者を、元老会議も桂以外には見つけられなくて、ついに桂の再登場となった。山県閥にとってのエースは、（d）という当時の朝鮮総督だったけれど、山県は自分たちに批判的な世論を見て、彼を将来のために温存したよ。ただ、桂が宮中を出る際に、大正天皇の勅語を奉じて出るという形式をとったことで、「閥族打破」「詔勅を以て弾丸とする」という（e）の批判を生んだことは、君たちも暗記したはずだ。

学生：（e）は当時（い）所属でしたね。確か、犬養毅も桂内閣に反対だったはず…。

教授：犬養の動きは面白いね。立憲国民党の党首だったけれど、国民党はやがて、二つに分裂する。犬養に反対した改革派は、やがて桂新党に合流するよ。しかし、桂が首相として新党結成を呼びかけても、世論が桂内閣に強く反発したことや、山県閥の貴族院議員が山県の意向を付度してほとんど加わらなかったことは、桂の予想外だった。護憲運動が盛り上がる中、野党から出された内閣不信任案を受けて、桂は失意の内に組閣以来53日、2月に辞職し、そのショックでその年10月には、胃ガン等で亡くなったよ。でも、桂新党、改め（え）は第3次桂内閣の外相を務めていた（f）が総裁となって、その年の12月下旬に結党された。その約10年後に本格的に政権を担当できる政党にまで成長していくことになるんだ。その途中、第3次桂内閣の次の次の内閣、第二次大隈内閣は、この（え）を与党にしているんだ。その話は第一次大戦ともからむから、また次に話そう。

A 下記の問い1, 2の答えをマーク解答用紙に記せ。

1. (あ)と(う)に該当する事項を、以下の語群から2つ選べ。

- | | | | |
|-----------|----------|------------|------------|
| イ シーメンス事件 | ロ 日露協約締結 | ハ 対華21か条要求 | ニ 第一次大戦参戦 |
| ホ 日英同盟更新 | ヘ 韓国併合 | ト 大逆事件 | チ 帝国国防方針策定 |
| リ 二個師団増設 | ヌ 八八艦隊整備 | | |

2. (い)と(え)に該当する事項を、以下の語群から2つ選べ。

- | | | | | |
|---------|---------|-------|---------|---------|
| イ 立憲民主党 | ロ 立憲同志会 | ハ 中正会 | ニ 立憲政友会 | ホ 立憲改進黨 |
| ヘ 憲政党 | ト 帝国党 | チ 自由党 | リ 国民協会 | ヌ 国民協同党 |

B 下記の問い1～4の答えを、記述解答用紙に記せ。

1. (a)から(f)に入る政治家を以下の(イ)～(フ)の中から各1人選び、その記号を記せ。

- | | | | | |
|---------|--------|---------|---------|---------|
| イ 井上馨 | ロ 板垣退助 | ハ 伊藤博文 | ニ 宇垣一成 | ホ 上原勇作 |
| ヘ 内田康哉 | ト 大浦兼武 | チ 尾崎行雄 | リ 加藤高明 | ヌ 加藤友三郎 |
| ル 清浦奎吾 | ヲ 黒田清隆 | ワ 河野広中 | カ 小村寿太郎 | ヨ 児玉源太郎 |
| タ 後藤新平 | レ 斎藤実 | ソ 西郷従道 | ツ 曾禰荒助 | ネ 田中義一 |
| ナ 寺内正毅 | ラ 徳川家達 | ム 長谷川好道 | ウ 林董 | ノ 原敬 |
| オ 星亨 | ク 陸奥宗光 | ヤ 牧野伸顕 | マ 松方正義 | ケ 松田正久 |
| フ 山本権兵衛 | | | | |

2. 下線部(α)にあたる法律として、第二次桂内閣が制定したのは何か。漢字3文字で記せ。

3. 第三次桂内閣で大蔵大臣を務め、下線部(β)設立の過程で大蔵省を辞し、(え)の副総裁となった人物は、1930年に実施された金解禁政策を引き継ぎ、翌年首相となってその政策を推進しようとした。その人物の氏名を漢字で記せ。

4. 下線部(γ)の根拠として、西南戦争後の近衛師団の反乱をきっかけに、山県の発案によって、政党の軍への浸透を防止するために、明治天皇が陸海軍に下したものは何か。漢字で記せ。

V 次の【史料1】、【史料2】、【史料3】を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料1】

総選挙結果

政党名	自民党	(1)	(2)	(3)
	議席 (得票率)	議席 (得票率)	議席 (得票率)	議席 (得票率)
第29回総選挙 (1960年11月)	296 (57.6%)	145 (27.6%)	17 (8.8%)	3 (2.9%)
第30回総選挙 (1963年11月)	283 (54.7%)	144 (29.0%)	23 (7.4%)	5 (4.0%)

【史料2】

私は、就任以来、政府みずからの姿勢を正し、政治と行政の運営を正常化し、さらに、政治、経済、社会の各分野(4)において、いかなる紛議があっても、寛容と忍耐を持って、話し合いを通じて解決するという、正しい民主主義の慣行が確立されるよう努力して参りました。幸いにして、国民各位の共鳴を得て、特に昨年来一部に見られたような異常な社会的緊張も次第に緩和の方向に向かい、人心の安定と社会的秩序の平穏が取り戻されつつあることは、まことに喜ばしいことでもあります。……

そのため、政府は、従来の新長期経済計画にかえて、今回、(α)の構想を政府の長期にわたる経済運営の方針として採用いたしました。(5)……特に、農業と非農業間、大企業と中小企業間及び地域相互間に存在する所得格差を(6)是正し、もってわが国経済の底辺を引き上げ、その構造と体質の改善をはかろうとするものであります。……

右の長期計画の実施にあたっては、……年平均九%の経済成長を遂げることを目標として、あらゆる施策を講ずることを明らかにしております。

【史料3】

私は民藝館でよく陳列の仕事に致しますので、壁に懸ける絵の表具について、特別な興味を抱くに至り、私自身で(7)表装の案を立てる必要に度々かられました。……その結果学び得た大切な事は、どんな色と色との組み合わせがよいのかという事でありました。そうして数多くの試みから、やっと帰納されました一つの結果は、「黄と鼠」との間により調和があることに気附きました。そうして次には「緑と赤」だという事が分かりました。……現代日本の洋画家で、最も優れた色感を持つ(8)の絵を見ますと、ここでも赤と緑とが主要な色である事が気附かれます。少なくとも最も有効にこれらの二色を使いこなしている画家は、(8)であります。……

「緑」と「赤」とには切っても切れぬ濃い縁があるのではないのでしょうか。そうしてこの二色の調和が、美の国を彩っている大事な要素になっているのを感じます。自然もまたこの事実を示すために、葉には緑を花には主に赤を与えているのではないのでしょうか。

A 下記の問い1～8の答えを、あ～おの中から選びマーク解答用紙に記せ。

1. (2)の政党は、1993年になって連立政権に加わり、翌年に新進党に合流して30数年の歴史に幕を閉じた。それはどの政党か。

あ 民社党 い 社会民主連合 う 民主党 え 日本新党 お 新自由クラブ

2. 【史料1】の第29回総選挙から第30回総選挙の時期の経済について、正しいものはどれか。

- あ カラーテレビと電気冷蔵庫の普及率は、ともに90%を超えた。
- い 神武景気といわれ、年率で7～8%の経済成長であった。
- う 第1次産業従事者の割合は、第2次産業、第3次産業のそれを下回った。
- え なべ底不況といわれたが、年率で5%の経済成長であった。
- お 輸出品は自動車、電子部品、輸入品は原油、天然ガス、木材が主要であった。

3. (4) の人物の経歴について、最も関係の薄いものはどれか。

- あ 通産大臣・経済審議庁長官
- い 自由党政調会長・幹事長
- う 吉田学校・宏池会
- え 山口県・鉄道省
- お 広島県・大蔵省

4. (5) を策定したのは、どの内閣か。

- あ 芦田内閣
- い 吉田内閣
- う 鳩山内閣
- え 石橋内閣
- お 岸内閣

5. (6) などを目標に、【史料2】の内閣が、この史料の翌年に策定・発表した計画はどれか。

- あ 経済自立5か年計画
- い 全国総合開発計画
- う 経済社会発展計画
- え 中期経済計画
- お 経済社会基本計画

6. 【史料2】の内閣の時に実現しなかったものは何か。

- あ L T貿易開始
- い G A T T 11条国移行
- う I M F 8条国移行
- え 変動為替相場制移行
- お O E C D加盟

7. (7) の人物は民芸運動の先駆者で、隣国の芸術にも深い理解を持って発展に尽力し、【史料2】の演説がなされた年に逝去した。その人物は誰か。

- あ 浅川巧
- い 柳宗悦
- う 司馬遼太郎
- え 志賀直哉
- お 武者小路実篤

8. (8) の人物は、第二次大戦前には「北京秋天」などの作品を、戦後には富士山、浅間山を対象にした作品を多く発表した。その人物は誰か。

- あ 青木繁
- い 岸田劉生
- う 黒田清輝
- え 安井曾太郎
- お 梅原龍三郎

B. 下記の問い9～11の答えを、記述解答用紙に漢字で記せ。

9. 第29回総選挙の際に、(1) の委員長が立会演説会で刺殺された。その人物の氏名を記せ。

10. (α) の構想は何か。漢字8文字で記せ。

11. 【史料2】を表明した内閣で官房長官、その後外務大臣や首相を歴任した人物が、財政再建を目標に導入を試みた制度は、最終的に1989年に創設された。それは何か。漢字3文字で記せ。

[以下余白]

早稲田大学 政治経済学部
2018年度 入試問題の訂正内容

<政治経済学部 一般入試>

【日本史】

●問題冊子9ページ：設問Ⅳ 問A-1 語群ホ

(誤)

ホ 日英同盟更新

(正)

ホ 日英同盟締結

以上